

稜 線

西東京市立ひばりが丘中学校

第2学年

第14号

令和6年6月6日発行

期末考査に向けて

運動会の余韻に浸りたいところですが、期末考査が近づいてきました。6月7日（金）の6時間目に、期末考査の計画を立てる予定です。それなのにいまだに中間考査の振り返りが出来ていない人がいます。中だるみの2年生と言われますが、1年生の頃より自分に甘くなっている人はいませんか？やればできる力があるのに、もったいないです。自分がどこまで頑張れるのか、チャレンジしてみてください。そんな自分をイメージして、しっかり計画を立てていきましょう。



〈敬称略〉

「運動会で得たこと」

E組

E組で初めて練習した時は、「大縄」が特に上手くいかなくて、クラスで対立することもあった。しかし、体育行事実行委員を中心に、クラスで課題に向き合い、どうやったら少しでも多く跳べるかを考えて練習をした。それでも中々上手くいかないことが多かったけど、クラスで協力し、あきらめなかった。本番は、クラスで大幅に記録を更新できた。逆に、リレーは、予行では1位だったが、本番は2位になってしまった。最終結果は準優勝だったけど、それ以上にクラスがまとまって団結できたと思う。

今回の運動会から、当日何が起こるかわからないこと。壁にぶつかっても諦めずに粘り強く取り組めば結果がついてこなくても、何か大きなことを学んだり、得ることができることを知った。また、何が起こるかわからないからこそ、普段からしっかり練習することが大切だと思った。

これからは、このような運動会で学んだことを普段の日常生活に活かしていきたい。例えば、勉強では、今日は1時間勉強したからいいやではなく、もっと他にやった方がいいなどか、わからなかった問題をもう一度解く、意味を理解する。部活では、前回はこのチームに勝てたから大丈夫だろうと思って練習するのか、前回はここが反省点だったからこそ、そこを意識して練習をしようなど。普段から自分に甘えるのではなく、厳しい判断をすることが大切だと思った。また、できていたことも継続しないとすぐにできなくなってしまうし、壁にぶつかった時にそこで継続をやめてしまったら、身につかない。なので、どんなことも油断せず、厳しい判断をして目標や達成したいことに向けて努力を継続していきたい。

「団結」

E組

私は、クラスのみんなで団結して大縄や全員リレーをできて良かったと思う。

大縄では、一番最初にやった時は、1・2回で喜んでいたけど、他のクラスが10回以上跳んだとか言っていて、なんでそんな跳べるのだろうと思った。でも、あきらめないで練習をしていたら、最初は一桁だったのが二桁まで跳べるようにまでなった。列とか縄の速さなどの改善点などを話し合った。今まで全くできなかった声を出すことも本番にはみんな声を出していた。大縄の結果は最下位だったが、最高の結果を出せたので嬉しかった。

リレーでは、一番初めのタイムを計った時が、一番タイムが良かった。二回目のタイムを計る時は、一回目よりもタイムが落ちていた。でも、諦めないで、バトンパスの「はい」「ゴー」の掛け声、オーバーテイクゾーンの使い方を工夫したら、タイムが縮まった。学年練習では、一位か二位かのどちらかだったが、予行では、全員リレー・選抜リレーでどちらも一位だった。とても嬉しかった。運動会本番では、全員リレーは二位だったけど、タイムもよくて、接戦で楽しかった。

大縄では全員で跳ぶときに最高記録を出して、リレーでは全員が声を出して応援していてとても楽しかった。本番、「E組団結しているな。」と思った。

